

## 久保田達也(くぼた たつや)先生のプロフィール

旭川医科大学卒業  
旭川医科大学院修了  
旭川医科大学付属病院 第三内科勤務  
現在、久保田内科胃腸科医院 院長

専門科目：内科、消化器科



### ◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

子供の頃風邪をひいて、父から漢方薬を処方されました。

### ◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

虚弱体質、食欲不振、原因不明の腹痛などで  
必須のものとなっています。

### ◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

6割位の方で漢方薬を使用しております。西洋薬と併用の方もおります。

### ◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

単純な対処療法の一手段としてではなく、身体の歪みを正す手段として  
漢方治療が再認識されるように望んでおります。

### ◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なされたことがありますか

風邪の極初期に症状をみながら色々試しております。  
患者さんの治療にも役立ちますので。



### ◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

西洋医学にない自然な治癒力を助けて、自ら治るように働く漢方医学は、  
ますます必要とされるようになるでしょう。

日本の伝統的な考えに基づいて勉強してこそ十分に効果を得られることを心に留めておいて下さい。

◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

「漢方に限界はない、あるのは使う医者 of 限界」といわれますが、患者さんの方も、ある程度継続する必要がある場合があることを理解して頂きたいと思います。

◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

仏教では、すべての事柄に因縁があると申しますが、漢方に気付かれた縁があるのでしたら、この機会を逃さずに勉強して頂きたいと思います。



注意:先生へのインタビューは、当会が2006年8月に行った内容です。